JACHI NEWS No.8 Aug. 2019

医療健康情報管理者研修会 開催報告

主催：一般社団法人 医療健康情報認証機構（JACHI）

一般社団法人 医療健康情報認証機構（会長 田中 滋 埼玉県立大学理事長、慶應義塾大学名誉教授）主催の「医療健康情報管理者研修会」が、8月24日（土）午後1時より、インテリジェンスプラザ（YS新横浜ビル5階）において開催されました。

医療健康情報の健全な発展のため、JACHIでは「Web情報の適切な管理」と「信頼性の高い健診情報の確保」の普及活動をしています。そのため、医療健康情報の利活用の向上と、それに伴って起こり得る問題と対策、運用方法などに対し客観的な評価ができるプロフェッショナルな人材の育成を活動の大きな柱としています。

この研修会では、健診や人間ドック業務に関わっている方を対象に、「Web認証」「情報品質認証」で要求される事項、また健診情報を適切に伝達するために必要とされる評価項目、手続きなどを習得していただくことを主たる目的としています。

研修会の受講前と受講後でそれぞれテストを実施し、どの程度理解度が向上したかを評価します。

研修会終了時には、修了証が発行され、その後「医療健康情報管理者」資格が認定されます。

午後1時開始の研修会には、全国から40名の受講者が参加されました。

吉田 勝美専務理事より開講のご挨拶とこの研修の全体像の説明があり、講義へと進みました。

◆◆講義内容◆◆

1．基調講演「医療における個人情報保護と倫理」

堀江 正知氏

（産業医科大学 ストレス関連疾患予防センター長／産業保健管理学研究室教授）

2．「JACHI Web原則の修正基準について」

吉田 勝美氏

（JACHI専務理事、産業医科大学 産業衛生教授）

「ICT技術の進展により、要配慮個人情報である医療情報が従来以上に利活用される時代を迎えています。直前に迫ったSociety 5.0ではネット上で発生する情報以外に、ネットに接続されたIoTからの膨大な情報が連携共有される時代になります。これからは、限られた情報のみの 利活用以外に、日常生活に関わるビッグデータとして利活用されることになります。ビッグデータ、AIの活用が浸透するにつけ、より一層の倫理的配慮が求められることになり、現行の関連法規における課題について整理することは今後の医療活動を進める上で有用なことになります。」

また、JACHIが提案してきましたWeb認証につきましても、情報共有のツールとしてWeb活用がされることから、JACHI基準の改定案に関して紹介いただきました。

◆ ◆ ◆

すべての講義が終わる頃には、時計の針が午後5時に迫っていました。受講者の方々は質量共に濃い研修を受講した満足感と、修了証を手に帰途につきました。

◆お問い合わせ先◆
一般社団法人　医療健康情報認証機構（JACHI）
〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-15-10 YS新横浜ビル5F インテリジェンスプラザ内
TEL：050-3776-9203　FAX：045-534-7556
E-mail：info@jachi-md.org　URL：http://www.jachi-md.org

Japan Accreditation Council for Healthcare Information